研究課題【臍帯血移植における KIR リガンド不適合が免疫動態に与える影響と HHV-6 脳炎発症との関連について】に関する患者さんへのお知らせ

京都大学医学部附属病院　血液内科では、当院で、2005 年 1 月から 2017 年 3 月の期間に、臍帯血移植を施行された方を対象に、免疫の変化と HHV-6 脳炎の発症との関係を明らかにする観察研究を行います。

HHV-6 脳炎は、特に臍帯血移植で問題となる予後不良の合併症の一つです。予後を改善するためには、脳炎を発症しやすい方に早期から治療を行うのが望ましいのですが、現時点ではどの患者さんに起こりやすいか、まだ分かっていません。そこで、当科では、移植後の免疫回復をみることで、脳炎の発症を早期に予測できるのではないかと考え、今回の研究を実施致しました。

情報収集する項目としては、年齢、性別、原疾患、患者さんおよび臍帯血の HLA、治療内容、治療効果、各種検査結果、合併症の有無、移植前後の臨床経過が挙げられます。すでに診療において実施された検査結果を用いるため、追加の検査はありません。患者さんから得られた検体（血液や細胞）そのものを用いた研究は含まれません。

研究実施期間は「京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院　医の倫理委員会」の承認後から 2022 年 3 月 31 日までです。

研究成果は学会、論文にて公表を行います。データは匿名化され、個人情報は保護されます。研究に関するデータ等は研究発表後少なくとも 10 年間保管されます。

研究計画書および研究の方法に関する資料をご希望の場合は、研究責任者にご連絡頂ければ、他の研究対象患者さんの個人情報及び、本研究に関する知的財産の保護等に支障がない範囲内で、公表致します。

情報を本研究のために使用されたくない方は、あらかじめご連絡いただければ解析対象から除外いたします。このような場合でも、治療において不利益を被ることはございません。ただし、既にどなたの情報かわからないように匿名化されていて除外不可能な場合には、ご希望に添えないこともあります。

この研究は運営交付金を用いて実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

研究の主たる責任者及び連絡先は、京都大学医学部附属病院　血液内科　近藤忠一、電話番号 075-751-3152 です。また病院にも連絡窓口を設けております。連絡先は京都大学医学部附属病院相談支援センター(Tel)075-751-4748　(E-mail)　ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp です。